

# 小学校第3学年道徳の時間学習指導案

日時 平成25年10月28日(月)

指導者 理科専科 教諭 安本賢治

## 1 主題名

家族愛【4-(3)家族愛】 関連項目 2-(1)、2-(4)

資料名「千代の話」(くまもとの心)

## 2 主題について

### (1) ねらいについて

家族愛とは、父母や祖父母を尊敬し、親愛の情を持つことである。また、共に生活を送る家族の一人ひとりの思いを考え、家族のみんなが幸せに暮らせるように、適切な心配りをし、自分でできることは家族のみんなのために進んでやり、少しでもみんなのために役立つように努める態度と行動である。さらに、家庭は人間が社会生活を行っていく上での基盤となりうるものである。家庭において身につける道徳性は、他の集団とのかかわりを築く上で、大変重要である。社会や集団の一員としての素地を養う観点からも、大切に扱うべき内容項目であると考ええる。

この時期の児童には、父母や祖父母への敬愛の念を深めるとともに、家庭生活に積極的にかかわろうとする態度を育てることが大切である。そのためには、自分が具体的に家族の役に立つことができ、家族に喜ばれるという実感をもたせることが必要である。しかし、家の人から仕事を頼まれても快く引き受けることができない児童も少なくない。

そこで、本主題では、千代の孝養を通して、自分の生活を振り返り、自分が家庭における重要な一員であることの自覚を深め、協力し合って楽しい家庭をつくろうとする積極的な姿勢を育てたい。

家族の愛情を理解し、家族を大切に力強く生きようとする態度を育てる指導を行うことは、本校の学校教育目標「本校の歴史と伝統を受け継ぎ、誇りを持って、自ら考え、心豊かに、たくましく生きる『伊倉っ子』の育成」を具現化するために、自他の生命を尊重し、互いの違いを認める子どもを育成する上でも意義深い。

### (2) 児童の実態について

※ 省略

### (3) 資料について

この頃の熊本藩は、三代目藩主細川綱利によって治められていた。綱利は將軍家綱より一字をもらい、元禄 15 (1702) 年には赤穂義士 17 人を預かっている。

この時代以降、孝子として公の褒賞を受け、藩の藩書に記録されたものは多いが、千代はその代表的な人物である。祖父母を喜ばせることを自分の喜びとして、千代は、精一杯の孝養を尽くした。孝女千代事績は「野中村千代」として、『肥後孝子伝』の中に出ているが、のちに伝説化されて、いくつかの話がつけ加えられている。郷土に永く伝えられるその話は読み手に深い感動を与えるものになっている。

### (4) 指導にあたって

- 話が二転、三転するので場面ごとに区切って読ませてしまいがちであるが、そうすると児童は話の続きに気を取られて、千代の心遣いを深く考えなくなる。感動は全文を読み通したときに生じるため、一気に読ませるようにする。
- 千代が祖父母に孝養を尽くしたのは、9歳という幼さで父母と別れてしまった千代を哀れに思った祖父母のいたわりがあったからである。人は親となって初めて親の恩を知るというが、親孝行をしようと思うときには親はもうこの世にいないことがある。展開のまとめでそういう説話を入れる。
- 千代が自然に恵まれた静かな村で育ったことも、優しい千代の心を育てるのに少なからぬ影響を与えたであろうことも、想像させたい。
- 資料を読みながら内容を黒板に整理したり、映像を活用したりすることで子どもたちが十分資料を理解できるよう支援する。

#### ICT活用のポイント

##### ①教師の活用

- ・資料を読む場面では、道徳教育郷土資料「熊本の心」に付属されているDVDの朗読再生を活用する。
- ・児童が資料の内容を理解しやすいように、写真等は電子黒板を使って拡大提示する。

##### ②児童の活動

- ・児童がお互いの意見をよりよく共有するために、ワークシートを実物投影機で拡大提示する。

### 3 本時の展開

(1) 目標 家族の一員として親や祖父母に尽くそうとする心情を育てる。

#### (2) 展開

| 過程        | 学習活動、主な発問(T)<br>予想される児童の反応(C)  | 指導上の留意点・評価  | 備考<br>ICT活用                               |
|-----------|--|---|---|
| 導入<br>5分  | 1 千代塚の所在地を知る。<br>(T)今日は千代さんの生き方について考えていきます。<br>(C)いつごろのお話かな。<br>(C)どんな人だろう。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>最後の3行を読ませる。</li> </ul>   | 県地図                                       |
| 展開<br>35分 | 2 「千代の話」を読んで話し合う。<br>(1) 祖父をいたわる千代の心について考える。<br>(T)千代はどんな気持ちで「ありがとう」と言っているのでしょうか。<br>(C)おじいさん、むりしなくていいよ。<br>(2) うわさ話を聞いた時の気持ちについて考える。<br>(T)千代が自分だけ早く寝ると聞いたときどう思いましたか。<br>(C)仕事をがんばる千代なのに、どうしてかな。<br>(C)おじいさん、おばあさん思いの千代がそんなことをするはずがない。<br>(3) 千代が殿様からほめられたわけについて考える。<br>(T)殿様がほうびを出したのは、千代のどんなところに感心したからでしょう。<br>(C)自分のことよりおじいさん、おばあさんのことを一番に考える千代に感心した。<br>(4) 自分を見つめる。<br>(T)千代の行いを知ってどんなことが心に残りましたか。<br>(C)自分は千代みたいに家族のためにがんばったことが少ない。<br>3 これからの生活について考える。<br>(1) 家の人のために何かをした経験をふりかえる。<br>(T)家の人のために考えて何かをしたことはありませんか。そのとき | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの資料理解を助けるため、資料を読みながら、場面を黒板に整理していく。</li> <li>仕事の助けにならないけれども、祖父の気持ちを大切にすることをおさえる。</li> <li>最初に聞いたときに感じたことを述べさせる。ふとんを温めるという細かな心遣いに気づかせる。</li> <li>自分の体より祖父母の体を大切に考える千代の心に感動したことを分からせる。</li> </ul> <div data-bbox="874 1406 1369 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>評価</b></p> <p>千代と自分の行いを比べ、家族の一員として、祖父母や親に尽くそうという気持ちをもつことができたか。(シート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループトークを行い、考えたことを交流させる。伝え合うことで自分を見つめることができるようにする。</li> <li>うれしかった気持ちなどを出し合うようにする。</li> </ul> | 場面絵<br><br>DVD<br><br>大型テレビ<br><br>おからの映像 |

|                            |  |   |                          |
|----------------------------|--|---|--------------------------|
|                            | <p>の気持ちはどうでしたか。<br/> (C)手伝いをがんばったらほめられた。</p> <p>(2) 家族からの手紙を読む。<br/> (T)お家の人からの手紙を読みましよう。<br/> (C)こんなふうに思ってくれていたんだ。</p> <p>(3) 家族について考えたこと、自分のこれからの生活について話し合おう。<br/> (T)千代さんの生き方について考えて、これから家の人のために自分はどんなことをやっていきたいかを書いてみよう。</p> <p>(4) 感想を交流する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• お家の人からの「あなたがいてくれるだけでうれしい」の手紙を読ませることで家族の愛情に気づかせる。</li> <li>• 友達の感想に対して、返しの感想を出させることで、家族愛について、価値を広げていく。</li> </ul> | <p>親からの手紙</p> <p>シート</p> |
| <p>終<br/>末<br/>5<br/>分</p> | <p>4 教師の説話を聞く。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教師の説話を聞かせる。</li> </ul>   |                          |